

入野小学校 校長室だより

2014.10.15(水) No. 22 文責：芝

昨日までの自分自身に勝つ

先週末の10日(金)、西南大規模公園に町内の4～6年生が集まり、黒潮町小学校陸上記録会が行われました。

天候については、遠くにあるとはいえ大型で強い台風19号の影響で風が強く吹くときがあり、「絶好のコンディション」と言い切れないのが残念でしたが、気温の面では熱中症の心配が少なく良かったです。

開会式での選手宣誓(三浦小学校)には「自己記録の更新」という言葉がありましたが、入野小学校のみんなはどうだったでしょうか。中には大会新記録をだすなど、素晴らしい結果の人もいましたが、もしかしたら緊張しすぎたり、力が入りすぎたりして、いつもの力を発揮できずに終わった人もいるかもしれません。満足した人も、そうでない人も、これから身体も心も大きく育っていく子どもたちです。どうか、次への大きな意欲につながる経験であってほしいと願っています。



さて、上の写真は「ボール投げ」。「絶好のコンディション」とは言い切れない」と先ほど書きましたが、「ボール投げには不運な場面があったのでは？」と思いました。風です。

私はボール投げの真横、ちょうどボールが描く放物線が見える位置から見ていたのですが、風に押されてボールが落ちているように見えました。

競技者は同じ条件だと言えますから、陸上記録会としては、しかたがないのですが、「自己記録更新 = 昨日までの自分自身に勝つ」ということになると、『昨日の自分』の方が、ちょっと有利だったようですね…。

上級生を見て学んでいく

7日(火)、5・6年生担任の先生を中心に作っている「高学年ブロック」の職員が6年教室に集まり、授業を参観しました。職員同士で授業を見合って「より良い授業作りの参考にしよう」という目的です。(注：どこの学校でも同じような取組をしています)

入野小学校のおもしろいところは、「上級生の授業を下級生が参観するときがある」ということです。これは珍しくて、自分たちの学校の取組とはいえ、とても興味深いことです。今回はブロックの職員に加えて3年生の子どもたちが参観しました。



3年生にとっては、6年生の上級生らしい意見発表、グループでの意見交換や話し合いなどから、自分たちの先の姿を感じ取ってくれたことと思います。6年生は緊張したでしょうね。『より良い姿』を見せたいと思ったことでしょう。そんなプラスに作用する気持ちを感じられ、うれしく見せていただきました。